

## 参考文献目録

### 1) 主要著作目録 (刊行順)

- \* 『支那詩論史』 鈴木虎雄著 弘文堂書房 1924 年
- \* 『唐五代西北方音』 羅常培著 中央研究院歷史語言研究所 單刊甲種之十二 1933 年
- \* 『文鏡秘府論考・研究篇下』 小西甚一著 講談社 1951 年
- \* 『俗講、説話与白話小説』 孫楷第著 作家出版社 1955 年
- \* 『敦煌變文集 (上) (下)』 王重民他編 人民文学出版社 1957 年
- \* 『挿図本中国文学史 (一) (二)』 鄭振鐸著 作家出版社 1957 年
- \* 『唐代長安与西域文明』 向達著 生活・讀書・新知三聯書店 1957 年
- \* 『教坊記・北里志・青樓集』 崔令欽等著 古典文学出版社 1957 年
- \* 『唐詩概説』 小川環樹著 岩波書店 1958 年
- \* 『中国語歴史文法』 太田辰夫著 江南書院 1958 年
- \* 『中国文化叢書① 言語』 牛島徳次・香坂順一・藤堂明保他著 大修館書店 1967 年
- \* 『中国文化叢書④ 文学概論』 大修館書店 1967 年
- \* 『敦煌石室講經文研究』 邵紅著 台湾大学文史叢刊 1970 年
- \* 『敦煌の民衆——その生活と思想——』 金岡照光著 評論社 1972 年
- \* 『唐代社会文化史研究』 那波利貞著 創文社 1974 年
- \* 『中国古典文学大系 60 仏教文学集』 入矢義高他編 平凡社 1975 年
- \* 『白居易集 (一～四冊)』 (唐) 白居易著、顧学頤点校 中華書局 1979 年
- \* 『樂府詩集 (一～四冊)』 (宋) 郭茂倩編 中華書局 1979 年
- \* 『話本小説概論 (上)』 胡士瑩著 中華書局 1980 年
- \* 『講座敦煌 7 敦煌と中国仏教』 牧田諦亮他編 大東出版社 1980 年
- \* 『講座敦煌 9 敦煌の文学』 金岡照光編 大東出版 1980 年
- \* 『中原音韻音系』 楊耐思著 中国社会科学出版社 1981 年
- \* 『敦煌變文論文録 (上) (下)』 周紹良他編 上海古籍出版社 1982 年
- \* 『詞與音樂』 劉堯民著 雲南人民出版社 1982 年
- \* 『曲芸唱詞創作談』 彭際野著 吉林人民出版社 1982 年
- \* 『敦煌資料と日本文学 (三) 大目乾連冥間救母變文』 編集解説: 川口久雄 大東文化大学東洋研究所 1984 年
- \* 『敦煌学論集』 甘肅省社会科学院文学研究所編 甘肅人民出版社 1985 年
- \* 『中国仏教史全集 第二卷』 道端良秀著 書苑 1985 年
- \* 『入唐求法巡礼行記 1・2』 円仁著 足立喜六訳注・塩入良道補注 平凡社東洋文庫 157・442 1970 年及び 1985 年
- \* 『弘法大師空海全集・第五卷』 興膳宏訳注 1986 年
- \* 『敦煌變文話本研究』 李騫著 遼寧大学出版社 1987 年
- \* 『敦煌資料による中国語史の研究』 高田時雄著 創文社 1988 年
- \* 『敦煌語言文学研究』 中国敦煌吐魯番学会語言文学分会編纂 北京大学出版社 1988 年
- \* 『敦煌語言文学論文集』 杭州大学古籍所等編 浙江古籍出版社 1988 年
- \* 『漢語史の諸問題』 京都大学人文科学研究所 1988 年

- \* 『説話と説話文学』石破洋著 近代文芸社 1991年
- \* 『敦煌文学叢考』項楚著 上海古籍出版社 1991年
- \* 『大乘仏典 10 敦煌 I』福井文雅他編 中央公論社 1992年
- \* 『敦煌変文集新書』潘重規著 文津出版社 1994年
- \* 『敦煌民間文学』高国藩著 聯経出版事業公司 1995年
- \* 『敦煌仏教文学研究』曲金良著 文津出版 1995年
- \* 『説唱芸術』王志健編著 文史哲出版社 1995年
- \* 『古代説唱弁体析篇』劉光民編著 首都師範大学出版社 1996年
- \* 『隋唐五代燕学雜言歌辞研究』王昆吾著 中華書局 1996年
- \* 『敦煌変文校注』黄征・張涌泉校注 中華書局 1997年
- \* 『敦煌語文叢説』黄征著 新文豊出版公司 1997年
- \* 『敦煌変文字義通积 (増補定本)』蒋礼鴻著 上海古籍出版社 1997年
- \* 『古詩詞文吟誦研究』陳少松著 社会科学文献出版社 1997年
- \* 『大唐三蔵取経詩話校注』李時人・蔡鏡浩校注 中華書局 1997年
- \* 『唐代変文 (上) (下)』梅維恒 (Victor H.Mair) 著 中国仏教文化出版有限公司 1999年
- \* 『敦煌よりの風 3 敦煌の仏教物語 (上)』川口久雄著 明治書院 1999年
- \* 『敦煌よりの風 4 敦煌の仏教物語 (下)』川口久雄著 明治書院
- \* 『中国北方農村の口承文化』井口淳子著 風響社 1999年
- \* 『敦煌遺書総目索引新編』敦煌研究院編 中華書局 2000年
- \* 『説唱芸術奇葩——敦煌変文選評』張鴻勳著 甘肅人民出版社 2000年
- \* 『敦煌文学源流』張錫厚著 作家出版社 2000年
- \* 『敦煌変文研究』陸永峰著 巴蜀書社 2000年
- \* 『俗情雅韻——敦煌賦選析』伏俊璉著 甘肅人民出版社 2000年
- \* 『中国古代小説与宗教』孫遜著 復旦大学出版社 2000年
- \* 『敦煌歌辞総編匡補』項楚著 巴蜀書社 2000年
- \* 『碧鷄漫志校正』(宋)王灼著、岳珍校正 巴蜀書社 2000年
- \* 『変文講唱与華梵宗教芸術』李小榮著 上海三聯書店 2002年
- \* 『敦煌俗文学研究』張鴻勳著 甘肅教育出版社 2002年
- \* 『敦煌語言文字学研究』黄征著 甘肅教育出版社 2002年
- \* 『異郷に永眠る悲劇の美人 王昭君』堀江~~滌~~子著 白帝社 2003年
- \* 『新世紀敦煌学論集』項楚・鄭阿財主編 巴蜀書社 2003年
- \* 『從敦煌学到域外漢文学』王昆吾著 商務印書館 2003年
- \* 『中国俗文化研究・第一輯~第三輯』巴蜀書社 2003年~2005年
- \* 『仏経文学研究論集』陳允吉主編 復旦大学出版社 2004年
- \* 『敦煌文学文献叢稿』伏俊璉著 中華書局 2004年
- \* 『古体詩律学』王力著 中国人民大学出版社 2004年
- \* 『曲律学』王力著 中国人民大学出版社 2004年
- \* 『敦煌変文選注 (増訂本) (上) (下)』中華書局 2006年
- \* 『敦煌歌辞総編 (上) (中) (下)』任半塘編著 上海古籍出版社 2006年
- \* 『仏教与唐五代白話小説研究』俞曉紅著 人民出版社 2006年

- \* 『永明体与音楽関係研究』 吳相洲著 北京大学出版社 2006 年
- \* 『唐代歌行論』 薛天緯著 人民文学出版社 2006 年
- \* 『中国音楽文学史』 朱謙之著 上海世紀出版集團 2006 年
- \* 『域外漢籍叢考』 金程宇著 中華書局 2007 年
- \* 『詩人と音楽——記録された唐代の音』 中純子著 知泉書館 2008 年
- \* 『大正新脩大藏經』 第一卷～第五十五卷、第八十五卷

## 2) 主要論文目録（論文著作集と重複するものは省略）

- \* 青木正児「敦煌本佛曲三種に就いて」（『支那学』第四卷第3号 1932年）
- \* 澤田瑞穂「支那仏教・唱導文学の生成」（『智山学報』第13巻 1939年）
- \* 澤田瑞穂「支那仏教・唱導文学の生成（続）」（『智山学報』第14巻 1940年）
- \* 高木正一「六朝における律詩の形成」（『日本中国学会報』第4巻・1953年）
- \* 小川環樹「変文と講史——中国白話小説の形成の起源——」（『日本中国学会報』第六集・1954年）
- \* 梅津次郎「変と変文——絵解の絵画史的考察その二——」（『国華』第760号 1955年）
- \* 王頤「《切韻》的命名和《切韻》的性質」（『中国語文』1961年第4期）
- \* 邵栄芬「敦煌俗文学中的別字異文和唐五代西北方音」（『中国語文』1963年第3期）
- \* 周祖謨「宋代方音」（『文史』1965年6月、第4輯）
- \* 黎錦熙「詩歌新韻軸的調查研究小結」（『中国語文』1966年第2期）
- \* 入矢義高「変文二則」（『中国の言語と文学；鳥居久靖先生華甲記念論集』1972年12月）
- \* 高島俊男「初唐期における五言律詩の形成」（『日本中国学会報』第25集・1973年）
- \* 陳寅恪「四声三問」（『陳寅恪先生論文集（下）』三人行出版社 1975年5月）
- \* 松尾良樹「音韻資料としての『太公家教』——異文と押韻——」（『アジア・アフリカ言語文化研究 17』1979年）
- \* 松尾良樹「敦煌写本に於ける別字——『韓擒虎話本』S2144を中心に——」（『アジア・アフリカ言語文化研究 18』1979年）
- \* 周大璞「《敦煌変文》用韻考」（『武漢大学学报』1979年第3期・第4期・第5期）
- \* 杜仲陵「杜詩与唐代口語」（『中国語文』1981年第6期）
- \* 張文軒「從初唐“協韻”看当時實際韻部」（『中国語文』1983年第3期）
- \* 張鴻勳「敦煌講唱文学韻例初探」（『敦煌研究』試刊第2期・1983年）
- \* 龍晦「唐五代西北方音与敦煌文献研究」（『西南師範学院学報』1983年第3期）
- \* 都興宙「敦煌変文韻部研究」（『敦煌学輯刊』1985年第1期）
- \* 朱緑梅「也談敦煌講唱辞的音楽淵源」（『敦煌学輯刊』1985年第1期）
- \* 張金泉「唐民間詩韻——論変文詩韻」（『1983年全国敦煌學術討論會文集（文史・遺書編下）』1987年）
- \* 張金泉「校勘変文当明方音」（『1983年全国敦煌學術討論會文集（文史・遺書編下）』1987年）
- \* 謝生保「河西宝卷与敦煌変文的比較」（『敦煌研究』1987年第4期）
- \* 王兆鵬「《広韻》“独用”、“同用”使用年代考——以唐代科挙考試詩賦用韻為例」（『中国語文』1988年第2期）
- \* 曲金良「敦煌写本《孝子伝》及其相關問題」（『敦煌研究』1988年第2期）
- \* 周祖謨「変文押韻与唐五代語音」（『語言文字學術論文集：慶祝王力先生學術活動五十周年』知識出版社 1989年）

- \* 高国藩「敦煌本王昭君故事研究」(『敦煌学輯刊』1989年第2期)
- \* 楊雄「《長興四年中興殿忘聖節講經文》研究」(『敦煌研究』1990年第1期)
- \* 都興宙「王梵志詩音校」(『敦煌学輯刊』1990年第2期)
- \* 高啓安「《十重深恩》与敦煌曲子辞《十恩德》《十種緣》《孝順樂》」(『敦煌研究』1991年第1期)
- \* 劉凱鳴「從韓愈《華山女》看講經文變文講唱」(『敦煌研究』1991年第3期)
- \* 李世英「論唐五代的仏教講唱文学」(『蘭州大学学报(社会科学版)』1991年)
- \* 陳允吉「中古七言詩体的發展与仏偈翻譯」(『中華文史論叢』1992年)
- \* 渋谷誉一郎「唐代的講唱文学——「説話」と「百戯」の關係を中心にして」(『藝文研究』(61)1992年)
- \* 金文京「詩讚系文学試論」(『中国 社会と文化』第7卷1992年)
- \* 金文京「敦煌本「王昭君變文」校注」(『慶應義塾大学言語文化研究所紀要(通号24)』1992年12月)
- \* 顧吉辰「唐代敦煌文献写本書手考述」(『敦煌学輯刊』1993年第1期)
- \* 渋谷誉一郎「敦煌所見韻文写本の書写形態を通して見た唐五代の一文芸状況」(『藝文研究』(65)1993年)
- \* 陳海濤「敦煌變文新論」(『敦煌研究』1994年第1期)
- \* 汪泛舟「敦煌韻文辨正舉隅」(『敦煌研究』1994年第2期)
- \* 邵文実「敦煌俗文学作品中的駢儷文風」(『敦煌学輯刊』1994年第2期)
- \* 榮新江・鄭文寛「有関敦博本禪籍的幾個問題」(『敦煌学輯刊』1994年第2期)
- \* 王小盾「敦煌文学与唐代講唱芸術」(『中国社会科学』1994年第4期)
- \* 金文京「「王昭君變文」考」(『中国文学報』通号50・1995年4月)
- \* (俄) 孟列夫「敦煌文献所見變文与變相之關係」(『敦煌研究』1995年第2期)
- \* 藤枝晃「敦煌写本概論」(『敦煌研究』1996年第2期)
- \* 許雲和「梵唄、転読、伎楽供養与南朝詩歌關係試論」(『文学遺産』1996年第3期)
- \* 周飛「變文絶跡考」(『敦煌学輯刊』1997年第1期)
- \* 李小榮「從《弘明集・正誣論》看變文生成的年代」(『固原師專学报』1997年第2期)
- \* 周祖謨「齐梁陳隋時的方音」(『語言学論叢』第19輯・1997年5月)
- \* 朱慶之「敦煌變文詩体文的換“言”現象及其来源」(『敦煌文学論集』四川人民出版社1997年)
- \* 金文京「中国の語り物文学」(『中国通俗文芸への視座』東方書店・1998年)
- \* 松浦友久「六朝新體詩から唐代近體詩へ」(『中国詩文論叢』第17卷・1998年)
- \* 宋蘅「元曲仮借字的音韻研究」(『語言学論叢』第二十一輯・1998年10月)
- \* 加藤聡「初唐期近體詩における四声・八病説の運用」(『集刊東洋学』(82)・1999年)
- \* 伏俊璉「論變文与講經文的關係」(『敦煌研究』1999年第3期)
- \* 李小榮「變文与唱導關係之檢討——以唱導的生成衍變為中心」(『敦煌研究』1999年第4期)
- \* 李小榮「變文變相關係論——以變相的創作和用途為中心」(『敦煌研究』2000年第3期)
- \* 李小榮・吳海勇「仏經偈頌与中古絶句的得名」(『貴州社会科学』2000年第3期)
- \* 王志鵬「試析敦煌講唱文学作品的小説特征及其与唐伝奇之比較」(『敦煌研究』2000年第4期)
- \* 金文京「敦煌變文の文体」(『東方学报』2000年3月・第72冊)
- \* 車錫倫「中国宝卷的淵源」(『敦煌研究』2001年第2期)
- \* 李小榮「敦煌變文“平”、“側”、“斷”諸音声符号探析」(『敦煌学輯刊』2001年第2期)
- \* 黄征「敦煌變文疑難字詞考辨」(『文史』総第57輯・2001年第4期)

- \* 陳明娥「20世紀的敦煌變文語言研究」(『敦煌學輯刊』2002年第1期)
- \* 伏俊璉「漢訳仏經誦読方式的来源」(『敦煌研究』2002年第2期)
- \* 小南一郎「孟蘭盆經」から「目連變文」へ——講經と語り物文芸との間——(上)」(『東方學報』第74冊2002年)
- \* 小南一郎「孟蘭盆經」から「目連變文」へ——講經と語り物文芸との間——(下)」(『東方學報』第75冊2003年)
- \* 黄征「《降魔變文》新校」(『文史』総第60輯・2002年第3期)
- \* Victor.H.Mair/TSU-LIN MEI 共著、長谷部剛訳「中国近体詩の韻律論におけるサンスクリット起源(一)」(『鹿児島県立短期大学紀要. 人文・社会科学篇』2002年)
- \* Victor.H.Mair/TSU-LIN MEI 共著、長谷部剛訳「中国近体詩の韻律論におけるサンスクリット起源(二)」(『鹿児島県立短期大学紀要』第54号・2003年)
- \* 吉川良和「『救母經』と『救母宝卷』の目連物に関する説唱芸能的試論」(『社会学研究』41)2003年)
- \* 荒見泰史「變と變文」(『国文学』第68集・2003年)
- \* 車錫倫「中国宝卷的形成及其演唱形態」(『敦煌研究』2003年第2期)
- \* 袁賓「唐宋“煞”字考」(『中国語文』2003年第2期)
- \* 孫步忠「俗講及民間講書唱書促成了白話小説韻散相間体式的定型」(『敦煌研究』2003年第3期)
- \* 何劍平「《維摩詰經講經文》的撰写年代」(『敦煌研究』2003年第4期)
- \* 李樹輝「S.6551 講經文写作年代及相關史事考辨」(『敦煌研究』2003年第5期)
- \* 荒見泰史「敦煌文献に見られる『目連變文』の新資料——北京8719文書について」(『東方宗教』第103号・2004年)
- \* 董艷秋「《仏説阿弥陀經講經文》写作時代考」(『敦煌研究』2004年第1期)
- \* 徐俊「敦煌詩歌写本特徴及内容的分類考察」(『敦煌与絲路文化學術講座』第2輯・2005年1月刊行)
- \* 荒見泰史「從敦煌写本中變文的改写情況來探討五代講唱文學的演變——以仏伝故事變文類作品為中心」(『敦煌學國際研討會論文集』2005年刊行)
- \* 王志鵬「敦煌写卷中仏教偈頌歌贊的性質及其内容」(『敦煌研究』2006年第5期)
- \* 高田時雄「敦煌遺書与漢語史研究」(『敦煌研究』2006年第6期)
- \* 土屋育子「戯曲テキストの読み物化に関する一考察——汲古閣本『白兔記』を中心として」(『日本中國學會報』第58集・2006年)